

目標とすべき10アール当たりの生産量、労働時間 及び機械の適正利用規模(案)

(近代的な果樹園経営の基本的指標)

平成 1 7 年 2 月 2 2 日

農 林 水 産 省 生 産 局

1 目標とすべき10アール当たりの生産量、労働時間及び機械の適正利用規模

(見直し案)

果樹の種類		区 分	10アール当たり 生産量	10アール当たり 労働時間	機械の適正 利用規模	摘 要	
かんきつ 類の果樹	うんしゅうみかん	ネグラム	3,100	87	5	隔年交互結実栽培、傾斜地用作業機	
			5,500	460	5	樹冠上部摘果、加温施設栽培	
			3,400	123	5	樹冠上部摘果、傾斜地用作業機	
			3,200	105	10	樹冠上部摘果、中型スプレー	
			3,600	132	15	樹冠上部摘果、多目的スプリンクラー(傾斜地)	
	なつみかん		4,500	121	5	傾斜地用作業機	
			4,500	106	10	中型スプレー	
	はっさく		3,600	112	5	傾斜地用作業機	
			3,600	98	10	中型スプレー	
	いよかん		2,700	111	5	傾斜地用作業機	
			2,700	93	10	中型スプレー	
	りんご		3,000	180	10	普通栽培	
			3,600	156	10	わい化栽培	
	ぶどう	小粒系		1,800	180	10	露地栽培
				1,800	280	10	無加温施設栽培
			1,800	314	10	加温施設栽培	
大粒系			1,500	187	10	露地栽培	
			1,500	294	10	無加温施設栽培	
			1,500	317	10	加温施設栽培	
なし	青なし	4,300	294	10			
	赤なし	3,000	166	10			
	西洋なし	3,200	219	10			
もも		2,300	147	10			
おうとう		600	173	10	雨よけ施設栽培		
びわ		1,300	234	10			
かき		2,000	114	10			
くり		350	49	10			
うめ		1,800	97	10			
すもも		3,000	164	10			
キウイフルーツ		2,500	192	10			
パインアップル		6,000	38	5	露地栽培		
		6,000	108	5	無加温施設栽培		

(注) 1. りんごはふじ、ぶどうのうち小粒系はデラウェア(ジベレリン処理)、大粒系は巨峰、なしのうち青なしはおきゴールド、赤なしは幸水、ももは白鳳、おうとうは佐藤錦、かきは富有によるものとする。

2. 10アール当たり生産量及び労働時間は、成園に係るものである。

3. 機械の適正利用規模については、「高性能農業機械等の試験研究、実用化の促進及び導入に関する基本方針」(平成15年7月17日農林水産省告示第1048号)に準ずるものとする。

(現行)

果樹の種類		区分	10アール当たり 生産量	10アール当たり 労働時間	機械の適正 利用規模	摘 要
かんきつ 類の果樹	うんしゅうみかん	ネグラム	3,400	93	5	隔年交互結実栽培、風筒式防除機
		時間	6,000	469	5	加温施設栽培
		ヘクタール	3,700	128	5	多目的作業機又は風筒式防除機
			3,500	110	10	中型スプレー
			4,000	139	15	多目的スプリンクラー(傾斜地)
	なつみかん		5,000	126	5	多目的作業機又は風筒式防除機
			5,000	110	10	中型スプレー
	はっさく		4,000	116	5	多目的作業機又は風筒式防除機
			4,000	101	10	中型スプレー
	いよかん		3,000	113	5	多目的作業機又は風筒式防除機
			3,000	95	10	中型スプレー
	りんご		3,600	158	10	普通栽培
			4,000	138	10	わい化栽培
	ぶどう	小粒系		1,800	180	10
			1,800	280	10	無加温施設栽培
			1,800	314	10	加温施設栽培
大粒系			1,500	187	10	露地栽培
			1,500	286	10	無加温施設栽培
			1,500	310	10	加温施設栽培
なし	青なし	4,300	263	10		
	赤なし	3,000	166	10		
	西洋なし	3,200	151	10		
もも		3,000	144	10		
おうとう		900	221	10	雨よけ施設栽培	
びわ		1,300	257	10		
かき		2,500	122	10		
くり		350	49	10		
うめ		1,800	115	10		
すもも		3,000	164	10		
キウイフルーツ		3,000	164	10		
パインアップル		6,500	33	5	露地栽培	
		6,800	74	5	無加温施設栽培	

(注) 1. りんごはふじ、ぶどうのうち小粒系はデラウェア(ジベレリン処理)、大粒系は巨峰、なしのうち青なしはおきゴールド、赤なしは幸水、ももは白鳳、おうとうは佐藤錦、かきは富有によるものとする。

2. 10アール当たり生産量及び労働時間は、成園に係るものである。

3. 機械の適正利用規模については、「高性能農業機械等の試験研究、実用化の促進及び導入に関する基本方針」(平成10年7月29日農林水産省告示第1100号)に準ずるものとする。

2 条件設定と見直しのポイント

- 効率的かつ安定的な農業経営(主たる従事者1人当たりの労働時間が他産業従事者と同等で、地域における他産業従事者と同じ水準の生涯所得を確保し得る経営)を実現するための単収、労働時間、機械の適正利用規模に関する基本的指標を設定。
- 現行指標を基本とし、現行水準を踏まえて見直し。

果樹の種類		園地条件 ※1	作業 体系 ※2	導入技術	想定 品種	導入機械		見直しのポイント	
						トラクタ	高所 作業車	単収(kg/成園10a)	労働時間(時間/成園10a)
かんきつ類の果樹	うんしゅうみかん	傾斜地	傾	隔年交互結実	高糖度系	歩行		3,400→3,100	収穫時間減 93→87
		〃	Sp	樹冠上部摘果、加温施設栽培	〃	—		6,000→5,500	収穫時間減 469→460
		〃	傾	樹冠上部摘果	〃	歩行		3,700→3,400	収穫時間減 128→123
		平坦地～緩傾斜地	SS	樹冠上部摘果	〃	乗用		3,500→3,200	収穫時間減 110→105
		急傾斜地	Sp	樹冠上部摘果	〃	—		4,000→3,600	収穫時間減 139→132
	なつみかん	傾斜地	傾		甘夏	歩行		5,000→4,500	収穫時間減 126→121
		平坦地～緩傾斜地	SS		〃	乗用		5,000→4,500	収穫時間減 110→106
	はっさく	傾斜地	傾		八朔	歩行		4,000→3,600	収穫時間減 116→112
		平坦地～緩傾斜地	SS		〃	乗用		4,000→3,600	収穫時間減 101→98
	いよかん	傾斜地	傾		宮内伊予柑	歩行		3,000→2,700	収穫時間減 113→111
		平坦地～緩傾斜地	SS		〃	乗用		3,000→2,700	収穫時間減 95→93
りんご		平坦地～緩傾斜地	SS	普通栽培	ふじ	乗用	○	3,600→3,000	摘果、着色管理時間等増、収穫時間減158→180
		〃	〃	わい化栽培	〃	〃	○	4,000→3,600	摘果、着色管理時間等増、収穫時間減138→156
ぶどう	小粒系	平坦地～緩傾斜地	SS	露地栽培	デラウェア	乗用			
		〃	〃	無加温施設栽培	〃	〃			
		〃	〃	加温施設栽培	〃	〃			
	大粒系	〃	〃	露地栽培	巨峰	〃			
		〃	〃	無加温施設栽培	〃	〃			ビニル被覆時間増 286→294
		〃	〃	加温施設栽培	〃	〃			ビニル被覆時間増 310→317
なし	青なし	平坦地～緩傾斜地	SS	自家和合性品種	おさかールト	乗用			摘果、土壌改良時間増 263→294
	赤なし	〃	〃		幸水	〃			
	西洋なし	〃	〃		ア・フランス	〃			摘果剤の廃止 151→219
もも	もも	平坦地～緩傾斜地	SS	低樹高仕立て	白鳳	乗用	○	3,000→2,300	栽植本数見直し、収穫時間減、摘果時間等増 144→147
おうとう	おうとう	平坦地～緩傾斜地	SS	雨よけ施設栽培	佐藤錦	乗用	○	900→600	収穫時間減 221→173
びわ	びわ	平坦地～緩傾斜地	他		茂木	乗用			袋掛け時間減(果重見直し) 257→234
かき	かき	平坦地～緩傾斜地	SS		富有	乗用		2,500→2,000	収穫時間減 122→114
くり	くり	平坦地～緩傾斜地	SS	低樹高整枝	筑波	乗用			
うめ	うめ	平坦地～緩傾斜地	SS		南高	乗用			収穫作業効率向上 115→97
すもも	すもも	平坦地～緩傾斜地	SS		大石早生	乗用	○		
キウイフルーツ		平坦地～緩傾斜地	SS	液体受粉	ヘイワト	乗用		3,000→2,500	人工受粉(液体受粉導入)、収穫時間等減、摘果・摘果、防除時間増 164→192
パインアップル		—	他	露地栽培(4年2収)	ボ・ゴール他	—			沖縄県の指標改訂に伴う全面的な見直し
		—	他	無加温施設栽培(4年2収)	ボ・ゴール他	—			

※1 平坦地～緩傾斜地(15度未満)、傾斜地(15度以上25度未満)、急傾斜地(25度以上)

※2 SS(乗用スピードスプレー)、傾(歩行型スピードスプレー等の傾斜地用薬剤散布機)、Sp(多目的スプリンクラー)、びわは広幅散布機、パインアップルは動力噴霧器

3 統計値との比較

果樹の種類		作業体系等	10a当たり生産量 (kg)			10a当たり労働時間 (時間)		
			27年 目標(案)	農業経営統計調査(H11～14)		27年 目標(案)	農業経営統計調査(H11～14)	
				平均	範 囲 ※		平均	範 囲 ※
かんきつ類の果樹	うんしゅうみかん	隔年交互結実栽培、傾斜地用作業機	3,100			87		
		樹冠上部摘果、加温施設栽培	5,500			460		
		樹冠上部摘果、傾斜地用作業機	3,400	2,981	2,148 ～ 3,978	123	204	160 ～ 267
		樹冠上部摘果、中型ｽﾎｰﾄｽﾌﾟﾚｰ	3,200			105		
		樹冠上部摘果、多目的ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ(傾斜地)	3,600			132		
	なつみかん	傾斜地用作業機	4,500	2,924	2,324 ～ 3,655	121	194	183 ～ 206
		中型ｽﾎｰﾄｽﾌﾟﾚｰ	4,500			106		
	はっさく	傾斜地用作業機	3,600	2,810	2,514 ～ 3,080	112	163	137 ～ 201
中型ｽﾎｰﾄｽﾌﾟﾚｰ		3,600			98			
	いよかん	傾斜地用作業機	2,700	2,316	2,147 ～ 2,568	111	169	159 ～ 185
		中型ｽﾎｰﾄｽﾌﾟﾚｰ	2,700			93		
りんご		普通栽培	3,000	2,346	1,745 ～ 2,854	180	242	177 ～ 346
		わい化栽培	3,600			156		
ぶどう	小粒系	露地栽培	1,800	1,226	878 ～ 1,433	180	455	356 ～ 562
		無加温施設栽培	1,800			280		
		加温施設栽培	1,800			314		
	大粒系	露地栽培	1,500			187		
		無加温施設栽培	1,500			294		
		加温施設栽培	1,500			317		
なし	青なし 赤なし 西洋なし		4,300	2,515	1,498 ～ 3,192	294	311	204 ～ 419
			3,000			166		
			3,200			219		
もも			2,300	1,771	1,569 ～ 2,300	147	315	184 ～ 398
おうとう		雨よけ施設栽培	600	382	294 ～ 477	173	337	253 ～ 409
びわ			1,300	833	701 ～ 945	234	516	490 ～ 538
かき			2,000	1,821	1,364 ～ 2,470	114	170	133 ～ 229
くり			350	208	203 ～ 211	49	56	47 ～ 63
うめ			1,800	1,682	1,468 ～ 1,785	97	248	217 ～ 276
すもも			3,000	1,315	1,189 ～ 1,430	164	330	316 ～ 350
キウイフルーツ			2,500	2,291	1,543 ～ 3,144	192	219	161 ～ 261
パイナップル		露地栽培	6,000	1,934	1,738 ～ 2,089	38	81	77 ～ 89
		無加温施設栽培	6,000			108		

資料：農林水産省統計部「農業経営統計調査（野菜・果樹品目別統計）」

※：調査期間(H11～14)における県別データの最低値と最高値の範囲を示している。